

<朝日新聞南彰記者の解説> 2021/6/30

赤木ファイルをめぐっては、野党は昨年4月、国政調査権の一種である「予備的調査」を使って、政府に提出を求めてきましたが、政府は遺族との訴訟中を理由に、ファイルの存否すら明らかにしない対応を繰り返してきました。

衆院調査局によると、訴訟を理由に、予備的調査の要求を初めて拒んだという異例の対応です。

大阪地裁が国に存否を明らかにするよう求めたことで、国会にもようやく提出されることになりましたが、提出された**6月24日、安倍さんが産経新聞のコラムの写真を添えて、ツイッターで次のような投稿**をしました。

<《この赤木氏は明確に記している。**＊「現場として(森友学園を)厚遇した事実はない**」この証言が所謂「報道しない自由」によって握り潰されています。》——@AbeShinzo>

たしかに、518ページにわたる「赤木ファイル」には、以下のような記述があります。

<本省において、議員説明（提出）用に、決裁文書をチェックし、**調書の内容について修正するとの連絡受**。**本省の問題意識**は、**調書から相手方（森友）に厚遇したと受け取られるおそれのある部分は削除するとの考え**。**現場として厚遇した事実もないし、検査院等にも原調書のままで説明するのが適切と繰り返し意見**（相当程度意思表示し修正に抵抗）した>

安倍さんが強調した「現場として厚遇した事実もない」という記述については、朝日新聞をはじめ、主要な新聞が報じている内容であり、「報道しない自由」によって握り潰されているということはありません。

そのうえで考えたいのは**赤木さんが生前最後に書き残していた手記の記述**です。

<本件事案は、国有地の管理処分等業務の長い歴史の中で、強烈な個性を持ち国会議員や有力者と思われる人物に接触するなどのあらゆる行動をとるような特異な相手方で、これほどまで長期間、国会で取り上げられ、今もなお収束する見込みがない前代未聞の事案です>

<森友事案は、すべて本省の指示、本省が処理方針を決め、国会対応、検査院対応すべて本省の指示（無責任体質の組織）と本省による対応が社会問題を引き起こし、うそにうそを塗り重ねるといふ、通常ではあり得ない対応を本省（佐川）は引き起こしたのです。

この事案は、当初から筋の悪い事案として、本省が当初から鴻池議員などの陳情を受け止めることから端を発し、本省主導の事案で、課長クラスの幹部レベルで議員等からの要望に応じたことが問題の発端です>

**＊近畿財務局という「現場」ではなく、「筋の悪い事案」に応じた「本省」の主導で、売却から改ざんまでが行われた様子が浮かび上がる記述**です。

近畿財務局の現場が、当初、森友学園への売却に難色を示していたことは、改ざん発覚後に開示された交渉記録からもうかがえます。

たとえば、2014年3月4日の大阪府私学・大学課と近畿財務局のやりとり。

<（私学・大学課）建物の計画図等は提出されており、建物の規模等は概ね適切な内容であると考えている。問題は資金計画と健全な経営ができるかということで、内容について説得力に欠ける状態。また、小学校名「安部（※ママ）晋三記念小学校」として本当に進捗できるのか、取扱いに苦慮している。（財務局）状況は理解したが、本件は当局としても対応に苦慮している案件であり、引き続き相談させていただきたい> また、同年4月15日の記録には、近畿財務局の担当者が学園側に対する不信をこのようにつづっています。

<国の対応の非難及び自己の主張の妥当性を一方的に述べるのみであり、今後も、当方指示に真摯に対応することは期待し難いという印象> そうした経緯をたどりながら、**当時の学園理事長が昭恵氏と一緒に撮影した写真を示し、「夫人から『いい土地ですから、前に進めてください。』とお言葉をいただいた」と近畿財務局の担当者に伝えた**とされる同月28日を境に、**特例を駆使した貸付や売却の話が進み始めている**のです。

ターニングポイントと目される14年4月28日の財務局と学園側の交渉記録は「作った記憶があるという者がございます。ただ、いくら調べてもどうしても発見できなかった」（太田充・財務事務次官）として、いまだに明らかになっていません。

赤木さんの手記などを所収し、赤木さんの妻・雅子さんと元NHK記者の相澤冬樹さんがまとめた『私は真実が知りたい』には、このほかにも近畿財務局の「現場」が土地売却で抱いていた疑問や違和感を示す証言が紹介されています。しかし、政府は赤木ファイルが出てもお、再調査に応じない考えを示しています。

<安倍首相は2017年2月17日の国会の発言で改ざんが始まる原因をつくりました。麻生大臣は墓参にきてほしいと伝えたのに国会で私の言葉をねじ曲げました。**この2人は調査される側で、再調査しないと発言する立場にないと思います**> これは『私は真実が知りたい』にある**雅子さんの言葉**です。

安倍さんには、赤木ファイルの都合のいい一節だけをとらえるのではなく、赤木さんが残したものの総体に向き合って欲しいと思います。